

5. 記憶のメカニズムとその障害

★ 短期記憶 (short-term memory) ・ワーキングメモリ (working memory)

5-1. 症状 (臨床神経心理学・高次脳機能障害学)

5-1-1. 症例 K. F.

- a. 容量の問題
- b. 持続時間の問題

5-1-2. 聴覚-言語性, 視覚-言語性, 視覚-空間性の障害

5-2. どのように調べるか (神経心理学的検査) / 介入するか (認知リハビリテーション)

5-2-1. (言語性) 数唱, 文字列, 単語列 → 順唱, 逆唱

5-2-2. (非言語性) Corsi tapping span / spatial span → 順番通りに / 逆順に

5-3. メカニズムの仮説 (認知神経心理学)

5-3-1. Atkinson & Shiffrin (1968) の二重貯蔵モデル STM → (リハーサル) → LTM

5-3-2. Baddeley (1974) のワーキングメモリモデル

構音ループ (articulatory loop)

視空間スケッチパッド (visuospatial sketchpad)

中央実行系 (central executive)

※Baddeley (2000) では, エピソードバッファ (episodic buffer) 追加

5-4. 脳の構造と機能 (認知神経科学)

5-4-1. (STM) 感覚モダリティ・内容に対応した病変部位

5-4-2. (WM) 前頭前野の関与 ~ 中央実行系

★ 長期記憶 : エピソード記憶 (episodic memory)

5-5. 症状 (臨床神経心理学・高次脳機能障害学)

5-5-1. 健忘症 amnesia

- a. 前向性健忘 anterograde amnesia 発症以降に起きた出来事の再生・再認困難
- b. 逆向性健忘 retrograde amnesia 発症以前の出来事の再生困難
 - ・ 時間的勾配 temporal gradient

5-5-2. 症例 H. M., 症例 R. B.

5-5-3. コルサコフ Korsakoff 症候群

5-5-4. 展望記憶 prospective memory

5-5-5. 記憶の錯誤

- a. 作話 confabulation
- b. 重複性記憶錯誤 reduplicative paramnesia

5-5-6. 一過性全健忘 transient global amnesia

5-5-7. (cf. 心因性健忘)

- a. 解離性健忘 dissociative amnesia
- b. 解離性とん走 dissociative fugue

5-6. どのように調べるか (神経心理学的検査) / 介入するか (認知リハビリテーション)

5-6-1. 前向性

- a. WMS-R
- b. (言語性) 三宅式記銘力検査
- c. (言語性) Rey 聴覚言語性学習検査 (R) AVLT
- d. (視覚性) Benton 視覚記銘検査
- e. (視覚性) Rey 複雑図形 (再生)
- f. リバーミード行動記憶検査

5-6-2. 逆向性

- a. 自伝的記憶検査 (Kopelman ; インタビュー形式)
- b. 社会的出来事検査など

5-6-3. 記憶障害のリハビリテーション

- a. 内的ストラテジー
- b. 環境調整
- c. 外的補助

5-7. メカニズムの仮説 (認知神経心理学)

5-7-1. HERA モデル

5-8. 脳の構造と機能 (認知神経科学)

5-8-1. Papez 回路, Yakovlev 回路

5-8-2. 側頭葉内側

5-8-3. 間脳

5-8-4. 前脳基底部

- - -

★ 長期記憶 : 手続き記憶 (procedural memory) ※

★ 長期記憶 : 意味記憶 (semantic memory) ※

※ 次回以降補足